

問1 推古天皇が才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？

1. 冠位十二階 2. 大宝律令 3. 班田収授法 4. 十七条の憲法

問2 白村江の戦いのあと、九州の防衛や外交の拠点として置かれた役所を何という？

1. 平城京 2. 大宰府 3. 平泉 4. 平安京

問3 飛鳥文化を象徴し、聖徳太子によって建立されたとされる奈良県にある寺院は何？

1. 興福寺 2. 薬師寺 3. 法隆寺 4. 東大寺

問4 天智天皇が全国的な統治を強化するために初めて作成させた、国民の名前や本籍を記録した台帳を何という？

1. 班田収授法 2. 公地公民 3. 租庸調 4. 戸籍

問5 7世紀後半、壬申の乱で勝利し、天皇を中心とした国づくりを強力に進めた天皇は誰？

1. 天智天皇 2. 天武天皇 3. 持統天皇 4. 文武天皇

問6 中大兄皇子とともに飛鳥時代に権力を握り、天皇中心の政治の実現を阻んでいた豪族を何という？

1. 蘇我氏 2. 源氏 3. 平氏 4. 藤原氏

問7 法隆寺が位置しており、飛鳥文化の中心地でもあった現在の都道府県はどこ？

1. 京都府 2. 大阪府 3. 奈良県 4. 滋賀県

問8 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築物群として飛鳥文化を象徴する寺院を何という？

1. 東大寺 2. 中尊寺 3. 四天王寺 4. 法隆寺

問9 飛鳥時代に摂政として政治を行い、法隆寺などを建立した人物は誰？

1. 蘇我馬子 2. 聖徳太子 3. 中臣鎌足 4. 藤原不比等

問10 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？

1. 封建制度 2. 摂関政治 3. 公地公民制 4. 律令制度

問11 推古天皇のもとで摂政として登用され、聖徳太子とともに政治を行った有力豪族は誰？

1. 聖徳太子 2. 物部守屋 3. 蘇我馬子 4. 中臣鎌足

問12 推古天皇の時代、中国へ進んだ制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？

1. 遣隋使 2. 遣明使 3. 勘合貿易 4. 遣唐使

問13 604年に十七条憲法を制定し、役人としての心構えや道徳を説いた人物は誰？

1. 中大兄皇子 2. 天武天皇 3. 藤原鎌足 4. 聖徳太子

問14 663年、日本軍が唐・新羅の連合軍に敗れ、百済の復興に失敗した戦いを何という？

1. 元寇 2. 白村江の戦い 3. 承久の乱 4. 壬申の乱

問15 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？

1. 中央集権 2. 氏姓制度 3. 封建制度 4. 地方分権

問16 聖徳太子が制定した憲法において、仏教の尊重とともに取り入れられた教えを何という？

1. 道教 2. 仏教 3. 儒教 4. 神道

答え合わせ・解説

問1	答え 1 冠位十二階	603年に制定されました。役人に位を表す冠を与え、その色は徳・仁・礼・信・義・智の儒教的な道徳に基づく階層を示しました。これにより、有力豪族だけでなく、能力のある人物を政治に参加させる道が開かれました。
問2	答え 2 大宰府	大宰府は、九州地方（特に博多周辺）を管轄する行政機関です。軍事防衛だけでなく、外国との外交交渉を行う窓口としての役割も持ちました。周囲には「水城」という土木施設を築き、守りを固めたとされています。
問3	答え 3 法隆寺	法隆寺は奈良県生駒郡斑鳩町に位置し、7世紀初頭に聖徳太子が建立したと伝わります。日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録された歴史的建造物であり、釈迦三尊像などの飛鳥彫刻の名品も多く収められています。
問4	答え 4 戸籍	天智天皇が作成させた戸籍（庚午年籍）は、日本で初めて全国的に行われたものです。これにより、誰がどこに住んでいて、どのくらいの労働力があるのかを国が管理できるようになりました。これにより、徴兵や税の徴収がスムーズに行える体制が整えられました。
問5	答え 2 天武天皇	天武天皇は飛鳥浄御原宮に都を定め、天皇を頂点とする専制的な政治体制を確立しました。また、歴史書である『日本書紀』の編纂を命じ、富本銭の鑄造を行うなど、国の基盤整備に力を注ぎました。
問6	答え 1 蘇我氏	蘇我氏は飛鳥文化の中心的な存在でもあり、聖徳太子と協力して国の基盤を固めました。しかし、独裁的な権力を振るったことで他の豪族や天皇家との対立を深め、最終的には不満を持つ中大兄皇子や中臣鎌足らによって倒されることとなりました。
問7	答え 3 奈良県	奈良県には法隆寺のほか、飛鳥寺や四天王寺などの初期仏教寺院が建てられ、大陸文化の影響を受けた美術が発展しました。この地域の独自の風土から、日本の古代文化が形作られていきました。
問8	答え 4 法隆寺	法隆寺は、聖徳太子によって建立された日本最古級の寺院です。現存する金堂や五重塔などの建物は、世界で最も古い木造建築物群としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。当時の建築技術や仏教美術の粋を伝えており、飛鳥時代の高度な国際交流の様子を現代に伝えています。
問9	答え 2 聖徳太子	聖徳太子は推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を中心とする秩序を作ろうとしました。また、仏教を深く崇敬し、法隆寺などを建立して文化の発展を支えました。
問10	答え 4 律令制度	「律」は今の刑法、「令」は今の行政法にあたるもので、これらを組み合わせて国を治める体制を律令制度といいます。この制度により、中央政府が地方を支配し、すべての国民を戸籍で管理して税や労役を課するという中央集権的な国家体制が築かれました。
問11	答え 3 蘇我馬子	推古天皇が即位した際、馬子は甥である聖徳太子を摂政として登用し、新しい国づくりを主導しました。仏教の導入を積極的に進め、四天王寺の建立などにも深く関わりました。
問12	答え 1 遣隋使	607年に小野妹子らが派遣されました。彼らは隋の皇帝に国書を届けて対等な外交関係を求めるとともに、仏教の教義や政治の仕組みを学び帰国しました。これにより日本には大陸の新しい文化が急速に流入しました。
問13	答え 4 聖徳太子	聖徳太子は、推古天皇の摂政として政治を主導しました。官位十二階を定めて能力に応じた登用を促したほか、604年には十七条憲法を制定して役人の守るべき心得を示しました。これにより天皇への服従や、仏教・儒教の尊重を求めています。
問14	答え 2 白村江の戦い	663年、現在の韓国付近にある白村江（はくすきのえ）という場所で、日本軍は唐と新羅の連合軍と激突しました。しかし、最新の戦術を持つ連合軍に日本は完敗しました。
問15	答え 1 中央集権	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「中央集権」です。地方の豪族から土地や民を公のものとする「公地公民」を掲げ、中央政府が全国を一括して管理するシステムを構築しました。
問16	答え 3 儒教	儒教は、孔子を祖とする中国の思想で、礼儀や孝行、そして君臣関係といった秩序を何よりも重んじます。聖徳太子が制定した十七条の憲法では、仏教を尊ぶ姿勢とともに、この儒教的な上下関係の秩序を取り入れることで、役人たちが天皇に仕えるべき規範を示しました。